



障害者等歯科医師研修講習会

11月10日(月)「ホテルスエヒロ」において、障害者等歯科医師研修講習会が開催されました。

講師の前山善彦道北口腔保健センター所長が「障害のある子供たちの歯科治療について」と題して、道北口腔保健センター歯科診療所での診療状況についてご講演たまわりました。美唄歯科医師会会員の時も積極的に活動されておられました。旭川の新任の地で、誠に整った医療環境のもと積極的にご活躍の由大変安心いたしました。今



後共よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

扇谷明典先生、道歯終身会員として表彰

11月22日(土)道歯会館において、扇谷明典先生が北海道歯科医師会終身会員として表彰されました。先生は昭和34年に開業以来、美歯会専務理事、監事、道歯代議員、美唄市地域医療協議会委員などを歴任され、この11月で71歳になられての受賞となりました。今後共お体に気をつけられて、一層のご活躍を期待しますと共によろしくご指導お願ひ申し上げます。

労働基準法等説明会

12月5日(金)「美唄ホテルスエヒロ」において、「労働基準法等説明会」が岩見沢労働基準監督署と美唄歯科医師会により開催されました。

労働基準法の説明や、来年1月からの同法改正の説明、岩見沢労働基準監督署統計による歯科医院に係る労働相談件数や、その相談内容についてご紹介がありました。時勢を反映して、従業員の賃金や解雇の問題などで、切実な内容が多くなかなか人を雇うのは容易なことではないと感じました。

(小森英世記)

合併しても、自立しても、道は遠い

岩見沢、美唄、三笠など6市町村の枠組みで構成してきた空知中央地域任意合併協議会がある一方で各自治体が合併に関する説明会開催や合併と自立の場合の2つのシミュレーションを提示しているさ中、10月20日美唄市長は市議会で合併せず、自立を表明しました。「あくまで最終判断するのは市民。自立は市長個人の判断だと理解してもらいたい」と市長は話すが、同任意協を構成する他市町村には戸惑いが広がっています。同任意協の会長を務める岩見沢市長は、美唄の表明を受けて「最終結論として、法定協不参加とは聞いていない。

それぞれの市の考えかたは尊重したい」とコメントしました。ただ同市は合併と自立の2つのシミュレーションを住民説明会で提示している真最中でありました。

その他市町村も「他市町村のことは口出しできないが」とコメントしながら、なぜこの時期に？と戸惑いをかくせない様子でした。この問題の処理にはまず、重要な情報を流し、合併・自立のメリット・デメリットを十分に話し合い、その後アンケートを取って結論を出すべきと思っていましたが、市の結論が先に出てしまって一人歩きしているようで、市長の「あくまで最終判断を下すのは市民」という言葉が素直に聞き難いように思われました。

(雨田 実記)